

2020年度 大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程<一般入試>
博士前期課程<社会人特別入試>
博士後期課程<一般入試>

学生募集要項の更新について

1. 【共通：3頁】出願書類のうちの本人宛先記入の封筒3枚のうちの「受験票」等送付用に貼付する切手の額面の変更

旧

本人の宛先記入の封筒3枚

※①「受験票」等送付用（522円切手貼付）

正

本人の宛先記入の封筒3枚

※①「受験票」等送付用（534円切手貼付）

2. 【共通：6頁】2019年度 担当教員研究内容一覧の更新

(1) 主たる指導教員の追加

共生学系 未来共生学講座 共生教育論

准教授 エツロット・クリスティアン

(2) 2020年4月から学生の受け入れを行わない教員

共生学系 グローバル共生学 多文化共生学

教授 宮原 暁

共生学系 グローバル共生学 多文化共生学

講師 島菌 洋介

共生学系 グローバル共生学 地域創生論

准教授 住村 欣範

2019年度 担当教員研究内容一覧(2019年10月16日更新版)

系	講座	研究分野	担当教員	研究内容
行動学系	人間行動学	基礎心理学	教授 ◎ 入戸野 宏	心理生理学 (特に脳波), 工学心理学, 「かわいい」の実験心理学
			教授 ◎ 森川 和則	知覚 (特に視覚) と認知の実験心理学的研究
		応用認知心理学	教授 ◎ 篠原 一光	日常的場面における行動と認知の実証的研究, 認知人間工学, 交通心理学
		社会心理学	教授 ◎ 三浦 麻子	コミュニケーションが新しい「何か」を生み出すメカニズムに関する実証的研究
			准教授 ◎ 綿村 英一郎	集団規範やヒトの懲罰行動に関する心理学的研究, 犯罪心理学, SNS上のコミュニケーション
		臨床死生学・老年行動学	教授 ◎ 佐藤 眞一	臨床・応用老年心理学, 特に傷病者を含む高齢者のコミュニケーションと人格的完成に関わる基礎と応用
			教授 ◎ 権藤 恭之	高齢期の認知機能の特徴, 超高齢期における心理的発達, 長寿要因の研究
		環境行動学	教授 ◎ 三好 恵真子	実践志向型地域研究による環境問題の課題解決, 食と環境, 人と自然との共生, 環境修復・リサイクル技術開発
			准教授 ◎ 青野 正二	環境問題の諸要因と人間行動, 騒音制御, 音響学, 環境評価, 環境デザイン
	安全行動学	教授 ◎ 臼井 伸之介	日常・産業場面でのヒューマンエラー, リスク管理に関する心理学的研究	
		准教授 ◎ 中井 宏	効果的な安全教育プログラムの開発と実践, 不安全行動の個人差研究	
	行動生態学	比較発達心理学	教授 ◎ 金澤 忠博	母子関係・仲間関係・自閉症・ADHDの比較発達心理学
		行動生理学	教授 ◎ 八十島 安伸	学習・記憶・情動・行動選択の脳基盤についての行動神経科学的研究
		行動統計科学	教授 ◎ 足立 浩平	多変量統計解析の行列モデルと解法の研究開発
		生物人類学	准教授(兼) 附属未来共創センター ◎ 中野 良彦	運動と形態の系統発達から見た人類進化に関する研究
		比較行動学	教授 ◎ 中道 正之	霊長類の行動発達と社会的認知に関する比較行動学的研究と動物園行動学
		講師(兼) 附属比較行動実験施設 ◎ 山田 一憲	霊長類の社会行動の至近要因・発達・適応的機能・進化に関する研究	
	社会学・人間学系	現代社会と社会理論	教授 ◎ 川端 亮	宗教社会学、現代社会における新宗教研究
			准教授 ◎ 高谷 幸	移民研究、現代社会論
准教授 ◎ クロイドン・シルビア CROYDON Silvia			犯罪社会学、生命倫理学、人権理論と実践	
経験社会学		教授 ◎ 吉川 徹	計量社会意識論、社会階層論、学歴社会学	
		教授(兼) ◎ 川端 亮 東京社会科学研究センター	社会調査法、宗教性・宗教意識の研究、テキストの計量的分析法	
コミュニケーション社会学・ジェンダー論		教授 ◎ 牟田 和恵	ジェンダー論、家族社会学、歴史社会学	
		准教授 ◎ 辻 大介	コミュニケーション論、メディア研究	
文化社会学		教授 ◎ ノース・スコット NORTH Scott	分業論、共働き家庭における両立問題、労働社会学、法律と社会	
		教授 ◎ 山中 浩司	医療社会学、臨床文化史、科学社会学、テクノロジーの社会研究	
福祉社会論		教授【兼】 G.I.センター 石川 真由美	グローバル化と文化・知識、高等教育のグローバル化、東南アジア/日本社会論	
		教授 ◎ 斉藤 弥生	社会福祉学、介護研究、地域福祉研究、ボランティア活動に関する研究、北欧諸国との比較政策研究	
		講師 ◎ 遠藤 知子	社会福祉政策、サードセクターと社会的経済、現代政治理論	
基礎人間科学		科学哲学	准教授 ◎ 森田 邦久	科学史、科学哲学、分析哲学
	哲学と質的研究	教授 ◎ 村上 靖彦	現象学、現象学的な質的研究	
		教授(兼) 檜垣 立哉	現代フランス哲学、日本哲学、生命論	
	准教授【兼】 COデザインセンター ほんま なほ	哲学プラクティス、フェミニズム哲学		
	比較文明学	准教授 ◎ 野尻 英一	哲学、社会理論、精神分析、表象文化論 (文明論、時間論、希望論、記憶論)	
	人類学	教授(兼) 栗本 英世 コンフリクトと共生研究分野	民族誌学、北東アフリカ研究、政治・歴史人類学的研究	
		教授 ◎ 福岡 まどか	芸術表現・身体表象とアイデンティティに関する人類学的研究、東南アジアの上演芸術研究(音楽、舞踊、演劇、物語、ジェンダー)	
	教授 ◎ 白川 千尋	呪術と科学の関係に関する人類学的研究、アジア・オセアニア研究		
科学技術と文化	教授【兼】 COデザインセンター 池田 光穂	医療人類学、中米民族誌学、人類学教育、生命倫理学 (研究倫理)、臨床コミュニケーション		
	准教授 ◎ 森田 敦郎	科学技術の人類学、気候変動適応における科学技術と文化的想像力のダイナミズム、人新世の環境人文学		
教育学系	教育人間学 (※)	教授 ◎ 藤川 信夫	人間の変化・変容のパターンに関する理論的及び実践的研究	
		准教授 ◎ 岡部 美香	教育人間学、子ども期 (インファンス) の教育思想史、教育民俗学	
	教育工学	教授 ◎ 西森 年寿	テクノロジー活用などの学習環境のデザインに関する研究	
		教授【兼】 経営企画オフィス 齋藤 貴浩	教育事業評価、大学評価、高校生の進路選択、プログラミング教育	
		講師【兼】 岡本 紗知 国際教育交流センター	科学教育、微生物学、科学英語	
	教育心理学	教授 ◎ 藤岡 淳子	非行・犯罪の心理学と行動変化のための働きかけに関する研究	
	准教授 ◎ 野坂 祐子	被害体験による影響とその回復に関する研究		

系	講座	研究分野	担当教員	研究内容
教育学系	臨床教育学 (MC臨床心理士養成コース)	臨床心理学 (MC臨床心理士養成コース)	教授 ◎老松 克博	心理療法における宗教性、心身相関、自己愛、イメージ変容についてのユング心理学的、精神医学的研究
			教授(兼) 藤岡 淳子 <small>教育心理学研究分野</small>	非行・犯罪の心理学と行動変化のための働きかけに関する研究
			教授 ◎野村 晴夫	心理療法、生涯発達における語り(ナラティブ)と記憶想起の機能の研究
			准教授 ◎佐々木 淳	社交不安に関する研究及び認知行動療法の実践と研究
			講師 ◎菅生 聖子	周産期医療領域・精神科医療領域における心のケア、グリーフケア、子育て支援
			准教授【兼】 石金 直美 <small>メンタルヘルス臨床研究センター</small>	生涯発達の段階、病態水準、心理療法の行われる場の違いによる心理療法のプロセスおよび治癒因子の研究
			准教授(兼) 平井 啓 <small>生涯発達研究センター</small>	コンサルテーションリエゾン心理学の理論と実践、意思決定と行動変容に関する実践的研究
			准教授【兼】 酒井 佐枝子 <small>大阪大学・徳島大学・浜松医科大学・中京大学・福井大学 兼任</small>	発達障がい児とその養育者への関係性支援に関する研究
	講師【兼】 竹中 菜苗 <small>メンタルヘルス臨床研究センター</small>	ユング心理学的心理療法、青年期の心理に関する研究		
	教育環境学	教育社会学	教授 ◎中澤 涉	教育と階層・労働市場に関する実証研究
		教育制度学	教授 小野田 正利	学校と保護者の関係づくりとトラブル対応に関する研究[2020年3月退任予定]
			教授 ◎園山 大祐	EU/フランス/マイノリティの教育政策・制度に関する比較国際研究
		生涯教育学	教授 ◎木村 涼子	ジェンダーと教育に関する研究、ジェンダーに関する歴史社会学
			教授(兼) 山本 ベバリー・アン <small>共生教育論分野</small>	担当するUNESCO Chair in Global Health and Educationに関する研究、ジェンダー、セクシュアリティの社会学
			教授【兼】 有川 友子 <small>国際教育交流センター</small>	教育人類学、異文化間教育学、文化習得に関する研究
			准教授 ◎岡田 千あき	生涯スポーツ、コミュニティとスポーツ、開発と平和のためのスポーツに関する研究
		教育文化学	准教授【兼】 北山 夕華 <small>国際教育交流センター</small>	シティズンシップ/人権教育、教育における多文化主義と社会的公正
	教授(兼) 志水 宏吉 <small>共生社会論研究分野</small>		教育システム・学校文化に関する社会学的研究	
	教授 ◎高田 一宏		同和教育論、コミュニティ教育論、子どもの貧困に関する研究	
	教授 ◎榎垣 立哉		共生の哲学思想、生命と生態学、生態的な文明・言語・芸術学的研究	
	共生学系	共生の人間学	教授(兼) 藤川 信夫 <small>教育人間学研究分野</small>	歴史的・文化的人間学、支援者・被支援者間の相互行為に関するドラマトゥルギー的研究
准教授【兼】 山崎 吾郎 <small>C0デザインセンター</small>			文化人類学、新技術の受容とその社会的インパクト、人口減少と自然-社会環境の変化	
教授 ◎稲場 圭信			利他主義・市民社会のアクション・リサーチ、ソーシャル・キャピタルとしての宗教に関する研究	
共生社会論		教授 ◎志水 宏吉	教育における排除と包摂、格差社会のなかの公正に関する研究	
		教授 ◎千葉 泉	ラテンアメリカ地域研究とその実践的応用、音楽を通じたコミュニケーション、「自分らしさ」に基づく共生社会の構築に関する研究	
共生行動論		教授 ◎渥美 公秀	ボランティア行動を介した被災者・被災地との共生に関するグループ・ダイナミクス研究	
		教授【兼】 近藤 佐知彦 <small>国際教育交流センター</small>	多文化共生の局面での行動や社会構築のあり方に関する研究	
共生教育論		教授(兼) 榎藤 恭之 <small>国際教育交流センター</small>	ソーシャルキャピタルが健康、寿命に与える影響の研究、長寿者の語りから見る幸福感の研究	
		教授 ◎山本 ベバリー・アン <small>YAMAMOTO Beverley Anne</small>	ジェンダー・セクシュアリティ研究、多文化社会の諸問題、教育の国際化研究	
		准教授 ◎エツロット・クリスティアン <small>ETZRODT Christian</small>	社会学理論、国際化、社会学教育、政治社会学、金融論	
グローバル共生学		国際協力学	教授 ◎澤村 信英	比較国際教育学、国際教育開発論、アフリカにおける教育開発・国際協力に関する研究
			教授(兼) 白川 千尋 <small>人類学研究分野</small>	国際協力活動の人類学的研究
	准教授 ◎杉田 映理		開発人類学、水・衛生の諸問題、アフリカにおける社会開発・国際協力に関する研究	
	多文化共生学	教授 ◎藤目 ゆき	日本近現代史、アジア女性史、ジェンダー論	
		教授【兼】 宮原 暁 <small>G1センター</small>	【2020年4月から学生の受け入れは行いません】	
	地域創生論	講師【兼】 島園 洋介 <small>G1センター</small>	【2020年4月から学生の受け入れは行いません】	
		教授 ◎大谷 順子	中国・中央アジア地域の社会開発、国際保健・人口学、国際災害社会学、研究方法論	
	コンフリクトと共生	教授 ◎河森 正人	東アジアの高齢者・障がい者福祉、共生のコミュニティづくりに関する研究、地方創生、タイ地域研究	
		准教授【兼】 住村 欣範 <small>G1センター</small>	【2020年4月から学生の受け入れは行いません】	
		教授 ◎栗本 英世	紛争と和解、および共生・共生に関する人類学的研究	
准教授 ◎モハーチ・ゲルゲイ <small>MOHACSI Gergely</small>	病気と創薬の比較民族誌研究、気候変動における植物と人間の共生			
講師(兼) 山田 一憲 <small>比較行動学研究分野</small>	利害の対立と葛藤解決がもたらす霊長類の社会進化、動物と人間の共生			

(注) 1. この一覧表は2019年10月1日現在で作成しています。以後の変更は人間科学研究科ウェブサイト (<https://www.hus.osaka-u.ac.jp>) 等でお知らせしますので、ご確認ください。

※ 教育学系臨床教育学講座の「教育人間学」は、2020年度から「教育人間学」と「人間変容論」の2つの研究分野に分かれます。

「教育人間学」：岡部 美香 准教授、「人間変容論」：藤川 信夫 教授

2. 職名の(兼)は研究科内兼任教員を、【兼】は研究科外の兼任教員を示します。職名の下の表記は所属を示します。なお、「G1センター」はグローバルイニシアティブ・センターの略称です。

3. 氏名の頭に◎印を付していない教員については、主たる指導教員になることができません。(副指導教員になることは可能です)

また、希望する指導教員が複数の研究分野に在籍している場合は、必ず◎印を付した研究分野で出願してください。